**公益社団法人霧島青年会議所　２０２０年度第五回理事会　議事録**

開 催 日：令和２年５月２６日（火）

開会時間：２０時００分

閉会時間：２２時４５分

開催場所：web

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　永田　純一　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　竹原　真麻　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　　　　　　　瀬戸口　誠　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　　　　　　濱田　龍幸　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　 前田　大悟　君
6. 2020年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上

７．２０２０年度理事長挨拶

理事長　田上　俊介　君

　　　　皆さん、こんばんは。先週の５月例会を担当していただきましたまちづくり委員

　　　　会メンバーの皆さんありがとうございました。３回目のＷＥＢでの例会で少し出席率も落ちてきた感があるのかなと思います。やっぱり同じことをやっていくと飽きてきてそこに意味を感じない委員会も出てくると思いますので、そこの工夫をしていけたらと思います。予定では残り２回、６月と７月ＷＥＢ例会でまた委員会も今回参考にしながらやって頂ければと思います。また、先日選出委員会を決める選挙がありまして、先週の土曜日に選出委員会を決めさせていただきました。

　　　　無事に２０２１年度の次年度の理事長、監事が決まりました。後ほど選挙、事務の

　　　　方から報告があると思いますが、２０２０年度の理事役員メンバーとして２０２１年度にしっかり繋いでいくように備えていければと思います。またドライブスルーも一段落した所でありましたが、そして今年は商工会議所、商工会も夏祭りの開催がすべて中止になりました。今年色んな事が出来ない中で、でも今年しか出来

　　　　ない事もあるのでそういった所も青年団体として色んな所に顔出していければと

　　　　思います。最近、誹謗中傷にあわれた方がいらっしゃいました。このコロナウイ

　　　　ルスの関係で政府の対応が遅かったり、やった事に対して批難するのは誰でもで

　　　　きる、私も今年どう判断すればいいのか、どう決断していいのか、その時の状況

　　　　の中で一生懸命されてると思います。自分達の考えの中でそこらへんの配慮をし

　　　　ていければと思います。最後までよろしくお願いします。

８．２０２０年度直前理事長挨拶

直前理事長　藏元　国明　君

　　　　皆さん、こんばんは。第５回理事会、ｗｅｂ会議という形です。新型コロナの影響

　　　　でＪＣ活動がやりにくい中で出来る事、事業の構築していただいております。そ

　　　　して本日、正会員の松下君がオブザーバーで出席をされております。本年度は顔

　　　　を合わせての活動を自粛されている為に中々お会いできる機会がないですけれど

　　　　も今後コロナの影響で緊急事態宣言も解除されて、皆さんでサポートしながらや

　　　　って頂ければと思います。今後は感染拡大防止に備えながら少しずつ経済の活動

　　　　も活発化していると思います。青年経済人として町つくり、人作りを少しでも重

　　　　力出来ればと思います。２０２０年度、中々予定していた事が出来ない中ではありますが、理事役員として田上理事長を支えて未来の地域の為に全員攻撃、全員守備

　　　　で会員一丸となって本気で取り組んでいきましょう。本日はよろしくお願いしま

　　　　す。

９．議長の選出

　審議事項：理事長　田上俊介

　協議事項：報告事項：専務　重野隆太

１０．作成人並びに署名人の指名

　　　議事録作成人：拡大・研修委員会　若宮翔吾副委員長

　　　議事録署名人：井上正樹副理事長、竹原真麻委員長

１１．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 田上俊介 | ○ | 板元幸仁 | ○ | 迫田博文 | ○ | 前田大悟 | ○ | 井上正樹 | ○ |
| 瀬戸口誠 | ○ | 濱田龍幸 | ○ | 永田純一 | ○ | 竹原真麻 | ○ | 重野隆太 | ○ |
| 八ヶ代尊徳 | ○ | 南郷英俊 | ○ |

　　理事１２名中１２名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 常盤大和 | ○ |

　　役員３名中３名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 橋正貴 | ○ | 東井上陽平 | × |

出向役員１名参加

１２．議題並びに資料の確認

　　　審議事項１件　　協議事項３件　　連絡・報告事項８件

１３．前回議事録の承認

　　　前田大悟副理事長　少し誤字等ありましたので指摘を出させております。

　　　　　　　　　　　　その後確認したことの報告

　　　永田純一委員長　　適正に処理されていたことを確認したことの報告

１４．議題

審議事項１：正会員承認（松下大葵君）の件

田上：　上程者である迫田副理事長宜しくお願い致します。

迫田：　詳細につきましては濱田委員長からご説明させて頂きます。

濱田：　　前回の正副から修正しましたので、確認いただき意見、質問ある方はよろしくお

　　　　いします。

八ヶ代：松下さんの仮会員費について５月２０日に納入いただいているのを確認しており

　　　　す。もう１点、今後の仮会員の入会金等の振り込み口座、互助会の口座、現在手

　　　　続きに入りましたので、名義変更が終わり次第こちらから改めてご報告させて頂きます。

前田：　運営方と副理事長に確認ですが、配属先は決まってますか？

迫田：　濱田委員長と松下さんが話した際にまちづくりに携わりたいと話を伺っていたのでまちづくり委員会の方に配属という形になっております。

前田：　バッチ授与式の時に何委員会に任命しますという形でバッチ授与式した方が会員

　　　　も理解すると思います。

板元：　１月、仮会員から正会員になった方が３名いるので、早い段階でオリエンテーシ

　　　　ョンが出来ればと考えます。出来るだけフォローをして頂ければと思います。

濱田：　委員会でＪＣが分かるもの昨年から引き継いで、昨年の見せて頂いた動画など活

　　　　用して知っていただくと考えて行動していきます。

審議

全会一致で可決

田上：　ありがとうございました。

協議事項１：８月総会計画書並びに予算（案）について

重野：　上程者である板元副理事長宜しくお願い致します。

板元：　前回の正副からの意見を修正してます。詳細につきましては瀬戸口委員長から

　　　　ご説明させて頂きます。

瀬戸口：前回の正副から青文字で修正しております。確認していただきご指摘があれば

　　　　よろしくお願いします。

前田：　ｗｅｂで進めているという事でよろしいでしょうか？状況次第で会場を借りてと

　　　　いう考えもありますか？

瀬戸口：ｗｅｂで計画は進めていますが、緊急事態宣言が解除されて会場を市民会館で８月

　　　　１８日１９時より仮予約という形で抑えてあります。対応が出来るように会場　は確保してあります。

前田：　どっちでもいけるようにして頂ければと思います。

八ヶ代：市民会館の仮押さえをされてるという事で、もし予算が発生すれば見積額が分か

　　　　り次第、参考として出して頂ければと思います。

瀬戸口：市民会館の事務所に見積書のお願いをしております。来週中にはいただけますの

　　　　でいただきましたらデータ化し参考資料に載せていきます。

八ヶ代：ありがとうございます。

橋：　　状況が変わりつつある中で総会は集まって間隔を開けて出来たらいいのかなとあるので、来て開催する方が準備するのが多いので事前に目が通せるのかなと思いますので大変かと思いますが確認して対応して頂ければと思います。後、ｗｅｂでする中で出席が下がってると思います。総会なので、後１回で審議という流れをとらざるえないので、あまり出席率を詰めて考えるのは個人的には好きじゃないですが、総会に人が集まるように出来る事、もう少し詰められたら次に繋げられるのかなと思います。

瀬戸口：会場使用につきまして、市民会館も霧島市役所より６月１日より使用状況による

　　　　指導があるみたいですので、その資料等を参考資料として送付いたしますので、

　　　　確認のうえ判断して頂ければと思います。参加促進については６月例会が参考と

　　　　なっており、案内する際に８月総会の日程もなるべくスケジュール確保をし６月

　　　　例会、７月例会の会務報告にも報告して、なるべく会員の方に参加して頂けるよ

　　　　うに事前に通知していくようには考えております。

濱田：　議案の参加促進に変なかぎかっこがついていたのでそこの修正ともしｗｅｂでするとなった時にハガキは送られてきますか？

瀬戸口：委任状は通常通り送付されます。

濱田：　ありがとうございます。議案の参加促進に変なかぎかっこがついていたのでそこ

　　　　の修正を指摘です。

瀬戸口：確認できたので修正します。

常盤：　ｗｅｂでするのかは執行部と相談して次年度の理事役員と理事長の挨拶とかその後の懇親会もあるので、そこは臨機応変に対応して頂ければと思います。議案の議

　　　　案作成書が副委員長となっていたり、案内文の中で日付だったり、細かい部分で

　　　　副委員長もしっかり見て頂いて、後、総会をｗｅｂでしたことがないので議題の途

　　　　中で退席と書いてありますが、ｗｅｂの中でそれが分かるのか、全体的にｗｅｂでするなら細かい所までチェックしないと恐らくこれが最初のベースになってくると思いますので、細かい所まで見て頂ればと思います。

瀬戸口：確認をしっかり行い修正をします。

木野田：参加促進方法についてですが、総会、例会を作られる中で最近一緒のものが多いという所で、皆さん報告書でも大体同じ事が書いてあって、達成出来ませんでしたとかそういうのが多いので、何か１つ各それぞれの委員会らしさ、新しい参加促進方

　　　　法を見つけ出してもらいたいなと、ぜひ総会ならではのものを作っていただきた

　　　　いと思います。後、挙手性という事で、各工夫で委員長方が一緒に連絡を取りな

　　　　がらとありますので、そこをしっかりと事前にリハーサルなどしてもらって作っ

　　　　てもらいたいと思います。

瀬戸口：参加促進については委員会に持ち帰らせていただき委員会で話し合いを行い検討

　　　　していきます。

藏元：　ｗｅｂでするか、会場でするかは難しいという所ではありますが、正副では判断を

　　　　してそちらに注力できるようにしていただいた方が準備も速やかに中身も詰まっ

　　　　ていくと思いますので、本年度の理事長、運営方、先ほど次年度の理事長の予定

　　　　者も決まっているので、そこは話をしながら早めに判断を頂ければ委員会もやり

　　　　やすいと思います。

田上：　８月総会は人事案件で２０２１年にとって非常に大切で、正副でも極力会場でしたいお披露目の場で、今までの流れの中でｗｅｂで総会をしたことがないので、判断をして１００人以下の会とか色々出てきてますので、そこらへんを構築しながら、会場も広く取らないといけないじゃないかなと思います。大変ですが調べて頂いて出来る限り集まってするという方向で考えています。これからどいう状況になってくるか分かりませんので、ｗｅｂで開催も可能性としては０にはならないのでもらった意見があればそこも反映して頂いて次に繋げていただきたいと思います。

瀬戸口：どちらになろうとも対応出来るように臨機応変にかかれるように準備致します。

協議事項２：４月例会報告書並びに決算書（案）について

重野：　上程者である前田副理事長宜しくお願い致します。

前田：　４月例会報告書を事前配信しております。詳細につきましては永田委員長から

　　　　ご説明させて頂きます。

永田：　１回目の協議議案となります。前回の正副で意見の内容を記載しました。指摘

　　　　質問ある方はよろしくお願いします。

常盤：　永田委員長の担当委員会の出席率は分かってますか？

永田：　把握してませんが、６６．６７％でした。

常盤：　全体が７０％の中で委員会が６６％でそれよりも下回ってるとなれば、色々議案

　　　　の中では検証はされてると思いますが、委員会の中で認知できてたのかという

　　　　所が１番問題になると思いますので、来れなかったメンバーが委員会にいるので

　　　　あれば、何で来れなかったのか、どうやったら来れるのかを聞き出せば委員会に

　　　　も上手く繋がると思いますので、次回に繋がる形で、委員会メンバーの出席率が

　　　　上がらないとできたことにはならないと思いますので、そこを考えて次に繋げて

　　　　いけたらと思います。

木野田：参加促進の１番最初の会員の部分ですが、検証で９割できたと書いてありますが

　　　　残りの１割はどうだったですか？

永田：　９割に近かったですが、ＬＩＮＥの既読がなかったというのがありまして、まったく目を通さないという方もいましたので、９割と記載しました。電話でも確認はし

　　　　まして、繋がらない方もいましてかけ直しても繋がらない方いましたので、９割

　　　　と記載させていただきました。

木野田：各委員会メンバーそれぞれＬＩＮＥなどチェックをしっかりするように各メンバーに伝えてもらえたらと思います。

南郷：　１１番項の実施上の問題点の１番最後のその他、ここだけ他の所に比べると書き

　　　　方が変わっていたのでその意図を教えてください。

永田：　その他に問題点だけではなく、上手くいった点もあったという事でそれを記載

　　　　してくださいという事でしたので、その他にうまくいった部分を記載させてい

　　　　ただきました。

南郷：　ありがとうございます。

前田：　今の件に関して正副の意見でした。初見の中よりかは分かりやすくで、ここに

　　　　記載させていただきました。

橋：　　記載しましたというの部分を削除でいいと思います。６月７月、ｗｅｂで続きます

　　　　先ほども出ましたが、ｗｅｂでの参加者が減るという事がないように特に委員会が頑張ればいいという事ではないので、委員長４人で連携を取りながら参加促進に務めてもらえたらと思います。また文章でも口頭でも引き継いでもらえたらと思います。

永田：　ありがとうございます。次に活かせるように、委員会で担当になった時には同じ

　　　　事をやらないように委員会それぞれの出席率が上がれるように努力したいと思い

　　　　ます。

前田：　この案件に関しまして、事前配信をさせていただきました。協議の中でもご指摘

　　　　はなく、ご質問がありませんでしたので、この報告書に関しまして審議事項に、

　　　　繰り上げ同期を出したいと思います。

迫田：　セコンド

板元：　同上

審議

繰り上げ審議として可決

前田：　ありがとうございます。先ほど、協議の中で質問そして来月以降のｗｅｂに対する

　　　　参加促進、その他、全体で協力はしていく形で進めていきたいと思います。

八ヶ代：４月例会につきまして、予算が発生したという事ですが、実際は決算、収支とも

　　　　に０となりました。作成上の不備もございませんでした。

田上：　４月例会が終わってすでに５月例会も終わりましたが、５月例会の担当だった竹

　　　　原委員長にどのような形で引き継ぎをされましたか？

永田：　４月の理事会に５、６、７月の一発審議で通る例会の中で４人の委員長で４月例会

　　　　で行った反省点を話し合いまして、私が書き留めたものを伝えまして、それを４

　　　　人でどう対策をこういう風にしたほうがいいという話し合いをしました。その中

　　　　で、今回取り組まれていると思います。

田上：　セレモニー、５月例会も上手くいかなかった所、ハウリングとかありました。

　　　　報告書も大事なのですが、どういった流れで伝えていくかが大事ですので、５月

　　　　例会は５月例会で上手くできるようにしてもらいたい。これは皆さんにお願いで

　　　　した。

審議

全会一致で可決

永田：　私自身初めての例会となりました。例会に向けての準備不足、会員の参加促進な

　　　　ど至らない所も多々ありまして、反省する所が多い例会となりました。今後、同

　　　　じ失敗がないように事前の準備に力を入れるなど工夫や努力を行っていきたいと

　　　　思います。ありがとうございました。

協議事項３：２０２０年度子供たちが自ら創る未来育成事業計画書並びに予算（案）に　　　　　　ついて

重野：　上程者である前田副理事長宜しくお願い致します。

前田：　３月の正副で青少年事業は本理事会から出てない状況ではありますが、３月まで

　　　　霧島市教育委員会の課長補佐をしていた今村さんという方が４月から小野小学校

　　　　の校長先生になりまして、お電話をいただきましてこのコロナで子供たちが退屈

　　　　している、何か刺激を与えたいと相談に乗ってほしいという事で、私と委員長と

　　　　橋アドバイザーと広報の板元副理事長と打ち合わせをしてきました。キャリア教

　　　　育、親御さん方と年代の近い青年会議所メンバーの方々に来ていただいて、色々

　　　　な事を体験できるのをしてほしいという事でオファーがありました。本年度の担

　　　　いとは少しスケールが違いますが、目指している所は一緒かなというような観点

　　　　から３月の正副まで出てた議案を少し修正した形で今回の理事会に提出させて頂

　　　　きました。日時に関しては、まだ決定ではないですが今月の３０日に今村校長そ

　　　　して教頭先生、ＰＴＡの役員の方々、当委員会が５名出席して１２名くらいの会議

　　　　を行います。その際に大方な中身が決定していただきたいと思います。中々こう

　　　　いう状況で打ち合わせが出来てない状況にありますが、議案として提出されてい

　　　　ただきましたので、ご意見、質問のある方はよろしくお願いします。

永田：　２回目の協議になります。議案書を作成しました。今回、小野小学校の校長先生

　　　　から事業の依頼を受けまして計画いたしました。経緯は先ほど副理事長から話し

　　　　た通りで重複しますので省きます。中身については背景は今年の基本方針とリン

　　　　クしておりますので背景の部分は基本方針に合わせて記載しました。目的に関し

　　　　ては、小野小学校の校長先生の考えている事に合わせて記載しております。手法

　　　　も小野小学校の校長先生の外来を元に作成しました。意見、指摘があればよろし

　　　　くお願いします。

濱田：　お疲れ様です。１４９名集まるという計画となっていますが、緊急事態宣言が解除

　　　　されたとはいえ、コロナの対策を教えていただけますか？

永田：　今の時点で予定人数が全員参加するという形ではないですけれども決まってはい

　　　　ませんが先月校長先生と人数の事でお話をしましたところ保護者の方が児童の方

　　　　と同じ人数で呼ぶのはできそうにないという事もありましたので、この人数に関

　　　　してはもう一度打ち合わせ等を行いまして適切な人数で参加をしていきたいと思

　　　　います。

濱田：　ありがとうございます。

八ヶ代：事前配信の段階で予算等がまだ変更する可能性があることは説明していただきま

　　　　したのでその点認識したうえでの質問でした。まず委員会の年間総事業費ですが

　　　　当初の１０万円でいいかと思います。重野隆太さん、隆太殿の殿が抜けていたの

　　　　でそれの修正でした。後、予算これから発生するという事ですけれども各ブース

　　　　に関してそれぞれブースによって違うものが必要になってくると思いますが、

　　　　これは全部事業費から落とす予定でしょうか？質問です。

永田：　すべてというところは金額が分からないところではありますが、極力この事業費

　　　　で収まるようにしていきたいと考えておりますので、事業費の中で収めたいと

　　　　考えております。

八ヶ代：各仕事業種によってブースがあるという事でここで説明するブースを管轄する人

　　　　達は手出し、自己負担がないという認識でよろしいでしょうか？

永田：　各ブースで何をするのかを話し合っていく所ですけどおそらく話し合いの中に

　　　　お金が発生する時があると思います。その時に私に話をいただきまして内容に自

　　　　費が発生しなくていいような状態で事業を行いたいと考えておりますのでその時

　　　　はご連絡いただければその形にしていきたいと思います。

八ヶ代：ありがとうございます。事業として行われるので極端に誰かだけ自己負担が起こ

　　　　らないように配慮いただければと思います。

板元：　質問なんですが、参加する子供、ＰＴＡ、保護者の方々の案内は学校側からでよろ

　　　　しかったでしょうか？

永田：　学校側から児童、保護者、教員の方々に流す形になっております。

板元：　後、この手法説明の中に各ブースの仕事内容が書かれていますが、ＪＣメンバーの

　　　　方々の連絡、内容の周知を行ってますか？

永田：　まだ行っていません。理事会後に説明会という形で合同委員会を開きまして内容

　　　　を見ていただきましてそこで質問を受けて説明をさせていただきたいと考えてお

　　　　りました。

前田：　板元副理事長ありがとうございます。手法に関しましては、３０日の打ち合わせの

　　　　際にこちらからの形で出す予定で作ってみます。打ち合わせの中で会員の中で出

　　　　来る人だったんですけど、校長先生も子供達からのニーズという事でどういう業

　　　　種を見たいかというのをとってもらってますので、そこを学校、保護者、青年会

　　　　議所、３者ですり合わせをしていきたいと思いますので今上げてるブースは会員

　　　　で出来る事という事でさせていただいてますので決まり次第精通する会員の方に

　　　　組みあけできたらと思います。

板元：　ありがとうございます。合わせてこのキリコニアの模擬面接の日程ですが、未定

　　　　となってますが、決まり次第再度この議案が上がってくるのですか？こちらから

　　　　この日がいいというのは委員会で出てきてますか？

永田：　先日、校長先生にこの事についてお話をしまして２学期に行いたいという事を聞

　　　　いております。この事業を行った後に時間をおいて再度模擬面接を行った方がよ

　　　　いという６年生の担任の先生の話もありました。時間が１時間程と限られていま

　　　　す。事業の時間の中で使いますので、こちらの意見というよりは学校が行える時

　　　　間で考えております。今の所はっきりしていない状況です。

板元：　ありがとうございます。２学期という事もあって、霧島青年会議所としても次年

　　　　度が始まっている時期も重なってきますのでもし１１月、１０月の後半でしたら

　　　　難しくなってくる部分が出てきますので、ある程度こちらからいつまでにはしたいですという提案も出せたら今度の３０日の時にも話が出てくると思いますのでそういう所も出来たらいいかなと思います。最後に予算が出てました予備費はいりませんか？

永田：　今の所これだけ準備しとけば大丈夫という金額の設定が出来ない所もありまして

　　　　最低金で抑える形で取っておりました。また打ち合わせを行いましてこの金額に

　　　　得られる金額であれば記載したいと思います。

板元：　その辺は財政の意見を聞きながら予備費が必要なのか、必要ではないのかという

　　　　所は再度してもらえたらと思います。

井上：　ＪＣにこんなに期待してくれてやっぱり今元気のない子供達にＪＣメンバーから頑張れと一言言ってほしいと所と依頼を受けてそれを形に出来るいい事業になりそうだなと思ってます。職業体験はこっち側で出来る職業の会員と会員で面接を

　　　　して職業体験をしない人達もいると思います。

永田：　こちらで全部という事でもありませんでした。こちらで決めていただいた方が

　　　　事業として作りやすいという事も伝えましたが、また打ち合わせを行いまして

　　　　考えのもと仕上げていきたいと思います。今の所は分からない状態です。

井上：　内容に関しましては今後打ち合わせで決まってくると思いますので、対外目的

　　　　もあったりして対外の中でそういう形がなくなってしまったグループが分かれ

　　　　てしまうとなった時に職業体験をしない会員が違う形で目的に繋がるようなひ

　　　　つらいが出来るそういった中身を打ち合わせの後に考えていただき依頼を受け

　　　　ているので、まず受けてる依頼の趣旨を浸透させたうえで全員がそういった目

　　　　的に繋げるような機会を違う形で考えてもらえたらと思います。また今後の打

　　　　ち合わせで構築していただきたいと思います。

南郷：　保護者の方も一緒に職業体験を受けるのですか？

永田：　実際に保護者の方には見ていただくという子供達とそしてブースの中で説明が

　　　　出来る場面がありますのでそこに席を用意しまして一緒に聞いていただくよう

　　　　な空間を作りたいと思います。時間があまりとれませんので、見ていただくと

　　　　いう形が主になってくると思います。

南郷：　ありがとうございます。保護者は基本的に見ていただくという事でしょうか？

永田：　そうですね。基本的には見ていただくという形になります。

前田：　この保護者の件につきまして備忘録には載ってませんが、このキャリア教育と

　　　　いうのが子供達だけが分かっても仕方がないです。学校教育が変わっていく事

　　　　に対して子供達だけが分かっても仕方がないと学校教育をしているのだという

　　　　事を保護者が分からないことにはゴール、目標が決められない。いわゆる学校

　　　　教育の先生方からの意見を組みながらここに保護者という形で参加人数に入れ

　　　　させていただきました。これに関しては色々な課程、環境というのがあります

　　　　ので、参加人数にいれさせていただき、またコロナの方もありますので限られ

　　　　た人数で保護者だけじゃなくてＪＣ会員においても全員が参加するのは難しい

　　　　ではないかと、校長先生からも意見いただいてますのでもう一度精査させてい

　　　　ただきたいと思います。

南郷：　もう１つ質問なんですが、２回目の模擬面接のブースなんですが、具体的にど

　　　　ういう風な流れ、回り方でしょうか？

永田：　この模擬面接のブースの回り方としましては、４０分という形でなっております

　　　　ので１つのグループに５人付きましてそのグループの中で５回、８分で４０分と

　　　　１つのグループがそれぞれ８分お話する時間を作りまして１グループで収まる形

　　　　になると思います。これが全部埋まるのは時間がかかってしまうので１ブース１

　　　　グループで考えております。

南郷：　そうなると１つのグループは１ヶ所だけで面談を行う事でしょうか？

永田：　この事に関して今の時点でのこの内容という形にはなってますが、極力色々な

　　　　意見を聞かせたいという校長先生の考えもありますのでまた打ち合わせを行い

　　　　ましてシナリオを詰めていきたいと思います。

南郷：　ありがとうございます。面談に関しては内容がどういう内容でどういう形でして

　　　　いくのか、マニュアルがあればいいのかなと思いました。

板元：　質問ですが、検証方法はどう考えてますか？

永田：　アンケートは入れてないですけれどもこの結果報告、今後終わった後にどうい

　　　　う風に変わりましたかそういったお話もしていきながらアンケートをこの中に

　　　　取り入れてこれをしてどうなったかというのは検証できるようにおります。今

　　　　の時点では議案に入ってませんが、そういった形で入れたいと考えております。

板元：　ありがとうございます。大変でしょうけどこの１回目の７月１１日に終わってか

　　　　らこの模擬面接までの間が空いてしまうかなとイメージ的には最初にやってきた

　　　　７月１１日の事を忘れてしまうというのがありますし、保護者の方の１人ずつ取っていくのは大変なのでもしよろしければタイムスケジュール等の中で時間に余裕があれば７月１１日の検証が１つ、その間の経過も踏まえて模擬面接の検証が１つという風に出来るとより次に繋げられる検証になってくると思います。

永田：　ありがとうございます。

八ヶ代：質問なんですが、案内文の日付が明日になってますが、審議前に流すという意図

　　　　があるわけではないでしょうか？

永田：　特にすぐ流すという事ではありません。この議案が方向性が定まっておりません

　　　　でしたので、とりあえず記載させていただきました。また合同委員会などで説明

　　　　させていただきたいと思います。

木野田：今回、小野小学校の校長先生から依頼を受けたという事で良い事業であると思う

　　　　のですが、小野小学校だけという形になっていると思うのです。ぜひ他の学校、

　　　　時間的に難しいかと思うのですけど他の小学校の校長先生と小野小学校とＪＣが

　　　　こういう事をします、見てもらえないかとかですねそういった事をしていけば継

　　　　続事業に今回はこの小学校からの依頼という事で本来ならばＪＣが自分たちが色

　　　　々活動していくんですけどこれを変換していく事も出来ると思います。そこら辺

　　　　を委員長はどのように考えてますか？

永田：　変換と言いますと事業として色んな学校に提案するという事をおっしゃってま

　　　　すか？

木野田：すぐという事でではなくてもし先々するとしたら永田委員長ではないかもしれま

　　　　せんが、ＪＣとして来年度の理事長がどういう考えになってくるという所もありますが、今回小野小学校が職業体験をするという事で他の校長先生もぜひ見てもらいたいなという風に思ってます。

永田：　私自身は小学校だけでなく中学校含めて全体でやっていく必要でこの教育は青

　　　　年会議所が地域の方々にというよりはこの地域全体の企業の方々皆さんがして

　　　　いきたいと環境を作りたいなという気持ちが１つありまして、その中で思いが

　　　　校長先生と話したこともありましたので、まずは気持ちが伝えられた所から広

　　　　げられたらと思っています。これが１つのきっかけとなりまして少しずつ場が

　　　　広がっていければという気持ちは持っております。

木野田：色々広報委員会を使いながら広報していただきたいと思います。もう１点なん

　　　　ですが、キリコという進行表の中に全体講話３０分というのがあるんですけど、

　　　　これはどういうものでしょうか？

永田：　これについてまだ校長先生の思いが聞き取れてない部分がありますのでまた打

　　　　ち合わせの時にどのような考えでいるのか聞きたいと思います。

木野田：全体講話というには学校からという事ですか？

前田：　これに関して進行表の中に当日の中に入っているような感じなんですが、この

　　　　事業をする前に学校の全校集会があると思うのですが、今村校長から青年会議

　　　　所、私、委員長、時間が取れればぜひ学校に来てほしいとどいう子達なのか顔

　　　　も見てほしいし、その時に青年会議所ですよという形で校長先生が紹介をして

　　　　知ってもらうという形で打ち合わせがありました。そこで話してほしいと我々

　　　　が受けた時代と全然違うというのも痛感してますしどこか教職員の方々がやは

　　　　り子供達に気を遣うという所がありますのでそこは我々が代弁出来て言えるよ

　　　　うな役をしてほしいという校長先生の方から依頼がありましたのでそういった

　　　　意味合いでも内容にかんしては３０日に打ち合わせしていきますのでよろしくお

　　　　願いします。

常盤：　備忘録を見る限り委員長、副理事長が熱い思いで動いた結果こうやってあっち

　　　　から声をかけてもらう正直今までにない形でしたので長くＪＣにいる中でありがたい話だし感想です。議案に関しては今からメインの打ち合わせという中身はこれから変わってくると思いますので、そこはしっかりと打ち合わせをしていただきたいと思います。その中で対内、対外目的という所をどうやってこの答えをもら

　　　　いたいからこの事業をするこの答えを導くためにはどういう流れでしようという

　　　　考えたうえで進めていただければと思います。その中で今までＪＣだけでやって

　　　　た事だけでは出来ない学校というのがタッグを組むという事で我々だけが動かな

　　　　くても学校が生徒に指導していく、今までの一方通行だけではなくて必ずリアク

　　　　ションが返ってくると思いますので、こっちの考えでアンケートを作ってもらう

　　　　、流してもらうというのも１つのやり方として考えられると思いますので、今ま

　　　　でのＪＣの考えというので予算がどうとかそういう事ではなくて柔軟にしてもい

　　　　いのかなと思いますので色々新しい事に挑戦していただければと思います。

永田：　ありがとうございます。アンケートであったり色々子供達に私たちの気持ちを

　　　　伝えられる環境、学校側も協力してくれますのでここで普段聞けない事、聞い

　　　　ておかないといけない事だったりというのを委員会メンバーと話し合いまして

　　　　こういう機会を出来るだけ有効に使いたいと思います。ありがとうございまし

　　　　た。

田上：　委員長お疲れ様です。皆さん言われている事なんですが、学校側から依頼があ

　　　　ったというのは非常にいい事で、ただＪＣは目的を持って事業をやるというのは

　　　　今ある目的に対して自分達の中で検証する方法を考えてもらってその中で校長

　　　　先生と打ち合わせをしていただきたい。非常にいい事なのですけど校長先生が

　　　　やりたい事をやるためにやる事ではないと思いますのでそこら辺はしっかりと

　　　　伝えたうえで事業をやって頂ければと思います。

永田：　ありがとうございます。私たちの思いも伝えられるように検証方法も考えてい

　　　　きたいと思います。校長先生に乗っかるだけではなく友達にどうなっていきた

　　　　いかの思いも校長先生の思いプラスアルファで進めていきたいと思います。

１５．連絡・報告事項

１６．監事講評

監事　木野田　幸平　君

　皆さんお疲れ様でした。今回オブザーバーとして議事録担当の若宮君ありがとうござ

　います。理事会監事とさせていただきまして、セレモニー、ＷＥＢ理事会とかやってま

　すのでいつでも読めるようにしてもらいたいなと思いました。今日は審議が１件、

　協議が３件の議題の理事会で審議につきましては、松下君の正会員承認の件という事

　で本年度当初の拡大目標は濱田委員長が決めていると思いますけど、現状は今の所正

　会員になってもらったのが３名、時間は待ってくれない所でコロナもありましたがこ

　くこくと１２月がやってきます。先ほど前田副理事長が言ってましたけれども出来る事

　があって、ＷＥＢ飲み会、ＷＥＢ面接とかもちろん紹介者を入れてＪＣの紹介とか考えてもらいたいと思っております。去年私も板元副理事長と一緒に拡大をして拡大は結果を

　言われてしまうという所ではありますけど私のところにも候補者誰かいませんかとい

　う連絡も来て目標に委員会として動いているとは思うのですけど濱田委員長が当初上

　げていた目標に何とか近づけてもらいたいなと頑張ってもらいたいと思ってますので

　またコロナも緩和していますので今まで溜め込んだ情報を元に動けるチャンスがある

　と思います。たくさんの拡大を期待しておりますので、よろしくお願いします。協議

　につきまして、３議案ででましたけれども例会の計画と報告がありましたけどやっぱ

　り参加促進というのが肝になってくると思います。計画もなんですが、毎月同じよう

　な事が書いてあるようにどうしても見えてしまうのでぜひ各委員長方、画期的な突拍子のないものを考えてもらいたいと思います。後、事業が今回は学校側からのオファーという事でスタートする事で素晴らしい事だなと思うのですけど、理事長からもありました目的というのがやはり大切になってきますのでそこも確認したうえでやってもらいたいと思います。そして次年度が動き出してきて、前田副理事長がいよいよ見えて参りまして楽しみだと思います。私は前田副理事長が怖いのですがなんとかついていきたいと思いますのでよろしくお願いします。色々次年度の動きも出てくれば仕事量も出てくると思いますので家庭や仕事、ＪＣを両立できるよう各それぞれ動いてもらいたいと思います。以上で監事講評とさせていただきました。ありがとうございました。

監事　常盤　大和　君

　皆さんお疲れ様でした。監事講評なんですが、もう木野田監事が全部言ったのですが、

　やはり同じところになるんですけど最初のセレモニーという所がＷＥＢになって少し

　ずつ何回もするにつれてある意味変な慣れというか感じているのかなと思います。

　ＷＥＢという事でネット環境があるので次第の中にも開けば出てきますのでそこをしっ

　かりと見て復唱をしていただきたいと思います。それが理事としての役割ですしそれ

　が委員会メンバーにも伝わってきますので再度気を付けていただきたいと思います。

　新入会員へのフォローというのが難しい状況ではあります。ただ難しいからできないのではなくて難しいながらでもしっかりと知恵を出し合ってフォローしてまた体制も変わってきますので、そこも気を付けてもらえたらと思います。全体的な所としましては２回延長になりました。２回は正直ないかなと思ってます。時間見て専務の方は報告事項で

　だらだらなるのは有り得ない事ですのでそこだけは次回気を付けて時間内にまずは定

　刻で、伸ばすのであればそれまでに終わらせるように理事役員の皆さんも今の場で発言すべきかどうかなどは再度考えて個別出来る所は個別でしていただきたいと思います。次年度の理事、監事が決まりました。勿論前田副理事長が経験もありますので心配もありませんし期待をしてます。監事の方が八ヶ代財政と板元副理事長という事で来年自分はいませんが、監事の姿を正直見たいなと思ってます。板元副理事長の方は濱田委員長に対する質問等が自分が言いたい事を全部言ってくれたのでそこは大丈夫かなと思いますし、また木野田監事が今度は板元次年度監事を導けるように今私が木野田監事を指導できればと思いますので引き続き７か月頑張っていければと思います。緊急事態宣言も解除されて新しい生活というのになると思います。梅雨も近づいてきますので体調を管理しつつ、コロナも警戒しつつという事で大変かと思いますが引き続きＪＣ活動を頑張っていただければと思います。以上で監事講評とさせていただきます。本日は皆さんお疲れ様でした。

１７．次回開催日時・場所の決定

６月　９日（火）２０：００　　第６回正副理事会

６月２３日（火）２０：００　　第６回理事会

　　　　場所　ＪＣ会館

１８．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　井上　正樹　君

議長・理事長（代表理事）　　　　田上　俊介　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　竹原　真麻　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　木野田　幸平　　　　　　　　㊞